

コード	503030101
記入日:	H22.6.10

事務事業途中評価表

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川義男
担当者	高山賢次

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	若松体育施設管理運営費
----------	-------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	503	施策名称	スポーツ・レクリエーション	項コード	6
基本事業コード	50303	基本事業名称	スポーツ施設の整備・充実	目コード	2
事務事業コード	5030301	事務事業名称	若松体育施設管理運営費	細目コード	
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町体育館条例 新上五島町若松武道場条例 新上五島運動公園条例		

計画(PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1)	施設利用者	(対象指標1) 延べ11,597人				
(対象2)	管理施設	(対象指標2) 10施設				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	若松地区の体育施設10施設の維持管理を行った。 管理施設10施設 保守点検回数38回	① 保守点検回数	38回	100%	保守点検回数38回÷計画した保守点検回数38回	***** 平成21年度
		(達成率分析)	計画どおり実施した。			
	浄化槽 消防設備	②				*****
	神部体育館 12回 2回	(達成率分析)				
	荒川体育館 12回 2回					
	桐古体育館 0回 2回					
	武道場 6回 2回					
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
若松地区住民の健康増進や地域交流の場として利用されている、若松地区体育施設の維持管理を行うことで、利用者の安全性や利便性を確保することを目的とする。 (管理施設:愛ランドプール、若松総合運動公園、間伏体育館、神部体育館、桐古体育館、荒川体育館、有福体育館、日島体育館、若松武道館、若松中学校夜間照明施設)		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① 体育館利用可能日数	359日	100%	利用可能日数359日÷年間開館日数359日	***** 平成21年度
		(達成率分析)	体育施設については、年間を通して利用できる状態であった。指標については、体育館分を記載している。			
		② 体育館平均稼働率	5.1%	15.3%	施設稼働時間946h÷年間開館時間4,667h÷施設数4÷0.33	***** 平成21年度
		(達成率分析)	指標については、体育館の大体育室の年間稼働率を記載している。			

実施(DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 回	110	110	72	38	38					
	②										
成果指標	① 日	1,436	1,436	1,077	359	359					
	② %	33	15.5	15.5	33	15.5					
総事業費C(A+B)	千円	35,824	35,778	23,952	11,872	11,826					
直接事業費A	千円	14,824	14,778	9,952	4,872	4,826					
人件費B	千円	21,000	21,000	14,000	7,000	7,000					
内訳	従事職員数	人	3.0	3.0	2.0	1.0	1.0				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	35,824	35,778	23,952	11,872	11,826					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由 町有施設であり、町が維持管理を行うものである。また、健康づくり、スポーツ振興の場であり、町のスポーツ活動の実践の場である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由 町の施設である限り、町が維持管理を行わなければならない。また、スポーツに親しませ、体力づくり、健康づくり、競技力向上は不変的なものである。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由 町有施設の維持管理であり、適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由 年間を通して利用できる状態ではあるが、利用されていない施設もあり、全体的に施設稼働率は低い。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由 施設の見直しで成果を向上することができる。管理施設10ある中で休止・廃止することで経費を削減することができる。また、武道場は若松中学校敷地内にあり、学校施設へ移管することにより有効活用できる。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由 施設の安全性が確保できなくなり、利用者に多大な影響を与える。
	類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由 町内には多数の施設があり、窓口を1本化することはできない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由 施設を見直し、廃止・休止することで経費の削減ができる。(現在、日島・間伏体育館を休止中)
	人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由 必要最小限度の人件費である。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由 使用料は適正に負担している。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在、施設の在り方や統廃合について検討中である。
		有効性	施設を見直すことで効果的な解決が望める。
		効率性	施設を見直すことで経費も削減できる。
	課題に向けた改善策	特になし	
	2次評価	妥当性	施設についてのあり方、統廃合の検討を進めること。方針が出るまでは適切な維持・管理に努めること。
有効性		施設の維持・管理においては住民の施設使用に支障がないよう、十分留意すること。また、施設の在り方、統廃合の検討は早急に行い、方針を示すこと。	
効率性		施設の在り方・運営方法の見直し等、より効率的な利用により経費の節減を図ること。また施設の管理は適正に行うこと。	

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
				このまま事業を継続				類似事業と整理統合
	●	●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
			事業費を見直して事業を継続				事業の廃止	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。